

令和4年度に向けた 政策要望



令和3年8月19日

豊田市議会 市民フォーラム

【代 表】中村孝浩 【幹事長】日當浩介 【政策審議会長】塩谷雅樹
作元志津夫 古木吉昭 吉野英国 鈴木孝英 中尾俊和 倉山和之 山本義勝

目次

1. はじめに -----	1
2. 要望内容一覧 -----	2
3. 令和4年度 豊田市への要望 -----	3
4. 引き続き注視する項目 -----	16

《参考》

1. 令和4年度 政策要望に向けての論点整理 ---	17
2. 令和3年度 政策要望の回答に対する評価 ---	32

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



- ・2030年のあるべき姿を描き、「SDGs 未来都市とよた」として持続可能な開発目標の達成に向け先進的に取り組む。
- ・具体的要望の本文にも、関わるゴールを図示しています。

1. はじめに

市民フォーラム代表 中村孝浩

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、本市においても市民生活や市内経済に多大な影響を及ぼしております。

先ず以て、市民の安全安心を最優先に感染防止対策などへご尽力いただいている全ての皆様に心より感謝申し上げます。

今なお、度重なる変異ウイルスの発生など引き続き警戒が必要な状況にあり、有効とされるワクチンの一刻も早い接種に向けて、これまで同様にご協力をよろしくお願いいたします。

また、この感染症は産業にも多大な影響を及ぼしました。こうしたなか、情報通信技術の積極的な活用は企業の働き方改革となり、新しい生活様式のなかにおいても知恵と技術で危機的状況を乗り越えるため、豊田市が一丸となって取り組んできたと言えます。

今後もアフターコロナを見据えて、生産性向上に向けたデジタル化の推進を加速させていく必要があります。

本市の財政状況は、法人市民税の一部国税化、特別地方交付税終了の影響が本格化したことに加え、基幹産業である自動車産業が100年に1度の大変革期を迎えていることで、豊田市の税収・雇用・定住・まちの発展において重大な局面に突入しています。更には、脱炭素社会に向けた2050年CO₂排出量実質ゼロは喫緊の課題としてとらえるとともに、医療・介護などの社会保障や公共施設の維持管理への対応として、より効率的な行政運営に努めるよう全庁一体となって取り組むことが重要であります。

そのためにも、第8次豊田市総合計画後期実践計画における目指す姿の実現に向けて、選択と集中を基に自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進による市民サービスの充実と「SDGs未来都市とよた」を推進し、持続可能なまちづくりへの取組が必要であります。

このような課題に着実に対応し、市民の命を守ることを最優先にアフターコロナ社会を生き抜く環境づくりに向けた社会基盤の向上と、くらしの豊かさを実現するため、私達市民フォーラムでは議論に議論を重ね、市民の想いを形にする部局横断的な政策内容として24のカテゴリーで34項目の令和4年度の政策要望とさせていただきます。

2. 令和4年度 豊田市への要望内容一覧

具体的要望は、本市がかかえる社会的課題や変化に加え、新型コロナウイルス感染症による新しい社会の在り方に対して、5つの柱を軸に要望を取りまとめました。

【安心して暮らせるまちづくり】

- ・安全な道路環境の整備 P 3
- ・犯罪から市民を守る取組 P 3
- ・災害から命を守る情報伝達手段の確立 P 4
- ・水害から上下水道機能を守る取組 P 4
- ・消防力の強化 P 5

【学び・育むまちづくり】

- ・部活動の健全化に向けた支援 P 5
- ・ICTを活用した学習能力の向上 P 6
- ・子育て支援の充実 P 6

【くらしを支えるまちづくり】

- ・自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進 P 7
- ・公共施設の最適化に向けた取組 P 7
- ・更なる民間活力の導入による歳出抑制 P 8
- ・公共交通の充実に向けた取組 P 8
- ・産業構造の変化への対応 P 9
- ・道路の適切な維持管理 P 10
- ・ICTインフラ整備の取組 P 10
- ・持続可能な地域産業への取組 P 11

【共に支えあうまちづくり】

- ・医療の危機管理体制の取組 P 11
- ・カーボンニュートラルへの取組 P 12
- ・高齢者の見守り支援 P 13
- ・地域で支える子どもへの支援 P 13
- ・持続可能なまちづくりに向けたSDGsの推進 P 14

【魅力を共感するまちづくり】

- ・市内商業活性化への取組 P 14
- ・自動運転の実用化への取組 P 15
- ・豊田市中心図書館の利便性向上 P 15

3. 令和4年度 豊田市への要望

【安心して暮らせるまちづくり】

要望内容	安全な道路環境の整備
------	-------------------

具体的内容	①カラー舗装化などの視覚的効果の活用
-------	--------------------

取り上げた理由 	<p>交通事故防止対策の更なる強化が求められるなか、視覚的効果の活用によるドライバーへの安全運転を促し、だれもが快適で安全に利用できる道路空間の確保が求められる。</p> <p>①生活道路におけるカラー舗装化等に向けた一層の取組をつうじて、安全な道路環境を確保する必要がある。</p>
--	--

要望内容	犯罪から市民を守る取組
------	--------------------

具体的内容	①特殊詐欺の動向を踏まえた注意喚起の拡大
-------	----------------------

取り上げた理由 	<p>高齢者を狙った特殊詐欺の被害が後を絶たない。また、ワクチン接種の行政手続き代行を謳う詐欺など、時々の情勢に応じてその手口も複雑化している。より具体的な啓発により、詐欺と気づきやすい注意喚起が求められる。</p> <p>①詐欺手口の検証をしたうえで実効的な特殊詐欺防止講座の拡大や、行政配布物に啓発チラシを同封するなど、タイムリーな注意喚起を図る必要がある。</p>
--	---

要望内容	災害から命を守る情報伝達手段の確立
具体的内容	①防災ラジオの普及に向けた個別通知 ②プッシュ型情報伝達手段の確立
取り上げた理由 	<p>全国で発生した災害事例において、災害情報が住民の危機感に結びつきにくいという課題がある。広範性、即時性、高参照性など、それぞれが有する情報特性を生かし、逃げ遅れゼロに向けた確実な災害情報の伝達が求められる。</p> <p>①防災ラジオを所有していない世帯主に対し、災害リスクの高い優先区域を定め個別に通知をすることで、普及に向けた段階的な促進を図る必要がある。</p> <p>②広大な市域の中でも、細分化した地域の災害情報が得られるプッシュ型情報伝達手段や、安否確認等がおこなえるシステムの確立が必要である。</p>

要望内容	水害から上下水道機能を守る取組
具体的内容	①上下水道施設浸水対策の推進
取り上げた理由  	<p>近年、全国各地で豪雨等による水害が頻発し、河川氾濫や内水氾濫の発生により上下水道施設が浸水するなど、市民生活に多大な影響を与えている。この現状を受け、河川氾濫等の災害時においても社会的影響を最小限にする取組が求められる。</p> <p>①上下水道施設耐水化計画の積極的な推進により、災害に強い上下水道機能を早期に整備する必要がある。</p>

要望内容	消防力の強化
具体的内容	①消防用ドローンの本格運用にともなう環境整備
取り上げた理由	<p>本市は共同開発事業者から無償貸与された消防用ドローンを活用している。近年進む機能革新や活用領域の広がりにともない、消防用ドローンを取り巻く環境整備をつうじて消防力の強化を図ることが求められる。</p> <p>①消防用ドローンの更新による視認性や操作性の向上などの機能強化を図り、活用領域と効果の更なる拡大につなげる必要がある。</p>



【学び育むまちづくり】

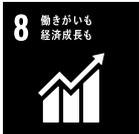
要望内容	部活動の健全化に向けた支援
具体的内容	<p>①休日部活動の地域移行に向けたしくみ構築</p> <p>②地域部活動指導者の確保</p>
取り上げた理由	<p>国の指針である休日のスポーツ、文化における部活動の段階的な地域移行が進められるなか、地域人材や運営団体の確保などの課題に対し効果的な支援による環境整備が求められる。</p> <p>①休日部活動の地域移行に向け地域や各団体への理解を推進しモデル校の立上げによるしくみ構築や連携をおこない、地域性を考慮した環境整備が求められる。</p> <p>②休日部活動の運営には指導者の確保が課題となるため、人材バンクの創設などあらゆる手段により人材を確保し、部活動とのマッチング支援を推進するとともに、指導者の質を高める研修会を開催する必要がある。</p>



要望内容	I C Tを活用した学習能力の向上
具体的内容	①デジタル学習ドリル活用による学習能力向上 ②配慮が必要な児童生徒への支援
取り上げた理由   	<p>学校教育の I C T 化にともない、教員の理解力や児童生徒の学習能力の格差を是正するための環境整備を充実し、指導力向上と多忙化解消に向けた支援ならびに、不登校や日本語指導の必要な外国人など配慮が必要な児童生徒への個別対応が求められる。</p> <p>①教員の多忙化解消や児童生徒の学習能力向上のため、個々の学習状況を迅速に把握し、児童生徒へ適切な指導がおこなえるデジタル学習ドリル導入などの支援が必要である。</p> <p>②授業に配慮が必要な児童生徒に対し、タブレットを活用したオンライン授業のしくみ構築など学習環境の整備を促進する必要がある。</p>

要望内容	子育て支援の充実
具体的内容	①ファミリー・サポート・センター協力会員の拡大 ②子どもの居場所づくりの拡大
取り上げた理由   	<p>保護者の就労ニーズの高まりや急な用事により、保育施設や放課後児童クラブなどの利用増加からリソース不足が懸念されるため、安心して子どもをあずけられる環境の整備が求められる。</p> <p>①子育てサポートを必要とする需要に対応するため、ファミリー・サポート・センターの協力会員の拡大に向け、民間事業所へのアプローチをおこなうなど幅広い人材の発掘が必要である。</p> <p>②保護者の不安や子どもがひとりで過ごすストレスに対して地域や子ども同士の交流の場となる子どもの居場所づくりの拡大を推進し、地域や団体と連携した環境整備が必要である。</p>

【くらしを支えるまちづくり】

要望内容	自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進
具体的内容	①デジタル化によるスマート窓口の早期実現 ②A I の積極的な活用による業務の効率化 ③人材育成によるデジタル化の推進
取り上げた理由  	<p>コロナ禍への対応など持続可能な市民サービス提供のためには、デジタル技術の活用により市民の利便性の向上や庁内業務の効率化を早急に進めることが求められる。</p> <p>①窓口で「行かない」を目標に、まずは「書かない」「待たない」を実現させるためには、窓口申請においてタブレットやスマホを活用した申請を導入し市民サービスの向上につなげる必要がある。</p> <p>②A I を活用して業務の効率化および事務改善を図るには、デジタル強化戦略に基づきA I 相談支援システムの調査研究等を進め、早期導入することが必要である。</p> <p>③デジタル化に向けた知識の向上とコンプライアンスの強化のためには、I Tを活用した業務改善力が身につくI Tパスポートなどの資格を各部署推進員に取得させる必要がある。</p>

要望内容	公共施設の最適化に向けた取組
具体的内容	①公共施設の適正配置による維持管理費の縮減
取り上げた理由 	<p>厳しい財政運営のなかで、歳入に見合った適正な予算編成とするためには、歳出抑制として公共施設の更なる最適化に向けた公共施設等総合管理計画の推進が求められる。</p> <p>①施設の集約化、複合化などを進めるためには、維持管理縮減の目標値設定とともに、付加価値をつけるなど地域住民の理解が得られる取組が必要である。</p>

要望内容	更なる民間活力の導入による歳出抑制
具体的内容	①ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB※）の取組拡大
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="172 629 312 763"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div data-bbox="172 772 312 907"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div data-bbox="172 916 312 1050"> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>  </div>	<p>健全財政の維持を鑑みたうえで、市民サービスの向上と様々な行政課題を解決していくためには、民間の資金やノウハウを活用した民間活力の導入による歳出抑制につながる取組が求められる。</p> <p>①新たな取組であるSIBの手法は、これから他の取組にも生かせるものであるため、令和3年度の取組を検証するとともに、他の分野へ積極的に導入していく必要がある。</p> <p>SIB※：民間の活力を社会的課題の解決に活用するため、事業を実施するための資金を民間から集め、事業の成果に応じた成果報酬を市が後から支払うしくみ。</p>

要望内容	公共交通の充実に向けた取組
具体的内容	①道路運送法改正にともなう多様な移動支援の充実
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="172 1626 312 1760"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div data-bbox="172 1769 312 1904"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>高齢者の移動手段確保をはじめ公共交通の課題解決に向けた検討が進むなか、広大な市域を有する本市は多様な地域特有の課題を抱えており、その一つひとつに適切な対応が求められる。</p> <p>①道路運送法の改正によって可能となった交通サービスを空白地区や中山間地区に導入するなど従来の交通サービスと組み合わせ、地域の実態に即した効率的な交通インフラを充実する必要がある。</p>

要望内容	産業構造の変化への対応
具体的内容	<p>①基幹産業の変革に向けた支援 ②スタートアップ^{※1}を活用した中小企業支援 ③デジタル技術導入の支援拡大</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="172 1160 312 1294"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div data-bbox="172 1305 312 1440"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div>	<p>超スマート社会や脱炭素社会の進捗により産業構造も大きく変化をしているなか、新たな産業の創出や新技術への対応など持続的発展を実現する産業都市としての取組が求められる。</p> <p>①CASE^{※2}やカーボンニュートラルの技術開発が進むなか、その影響を受ける中小企業においても新技術への知見を得るための支援や設備等の環境整備に向けた支援が必要である。</p> <p>②中小企業が今後の産業変革に対応できるよう、スタートアップとの協働を推進することによるイノベーション創出の支援が必要である。</p> <p>③中小企業のデジタル化を強化するために、中小企業の実態やニーズを踏まえ中小企業デジタル化支援補助金制度を継続するとともに、デジタル人材の育成を強化することが必要である。</p> <p>スタートアップ^{※1}：短期間での課題解決に向け、革新的なアイデアや独自性で新たな価値を生み出す企業。</p> <p>CASE^{※2}：Connected（コネクティッド）、Autonomous（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）といった次世代に向けた自動車業界の取組。</p>

要望内容	道路の適切な維持管理
------	-------------------

具体的内容	①先進技術を活用した道路点検の効率化
取り上げた理由	<p>重要なインフラである道路ネットワークを安全に利用し続けるためには、計画通りに維持管理をすることが重要である。そのためには、道路メンテナンス業務をより効率化することが求められる。</p> <p>①適切な道路の維持管理に向けA Iによるドライブレコーダーの画像分析技術を活用し、道路の点検業務の高度化や効率化を図る必要がある。</p>



要望内容	I C Tインフラ整備の取組
------	-----------------------

具体的内容	①5 G整備拡大に向けた取組
取り上げた理由	<p>情報化社会が進展するなか、高速大容量に加え多接続や低遅延が実現する5 Gなどの活用により、市民サービスの向上ならびに医療や産業等が発展できるよう環境整備の推進が求められる。</p> <p>①5 G基地局が設置可能な公共施設や市有地および今後開発を進める産業用地を公開し、民間による5 G基地局の積極的な設置を促すことで、市民の利便性の向上や企業誘致につなげることが必要である。</p>



要望内容	持続可能な地域産業への取組
具体的内容	①地域産業の生産性向上への支援
取り上げた理由	国内の生産年齢人口の減少による産業の競争力低下への対応が課題となっている。特に人手不足が顕著な農業や建設業においては限られた人材でも生産力を維持向上できる体制が求められる。 ①農業や建設業事業者のニーズを踏まえ作業の効率化および生産性向上に向け、自動化やICT技術を活用するための環境整備を進めるなど経営強化への支援が必要である。

【共に支えあうまちづくり】

要望内容	医療の危機管理体制の取組
具体的内容	①ワクチン接種の協力支援体制の構築
取り上げた理由	新型コロナウイルスワクチン接種は、医師会・企業をはじめ多くの協力により進んでいる。この感染症の感染拡大は予断を許さない状況であり、今後も緊急的な状況に即時対応できる体制や安全安心につながるしくみづくりが求められる。 ①今回のワクチン接種で得たノウハウを生かし協力を頂いた医師会、潜在看護師、企業との緊急時等における医療体制の強化に向けた協定や協力体制を確立し、市民の命を守るしくみづくりが必要である。

<p>要望内容</p>	<p>カーボンニュートラルへの取組</p>
<p>具体的内容</p>	<p>①産学官連携によるCO₂排出量実質ゼロの研究 ②次世代自動車の普及促進に向けたインフラ整備 ③エネルギーを生みだす施設への転換</p>
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div data-bbox="172 878 312 1012"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div data-bbox="172 1021 312 1155"> <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  </div> <div data-bbox="172 1164 312 1299"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div data-bbox="172 1308 312 1442"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div data-bbox="172 1451 312 1585"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  </div> <div data-bbox="172 1594 312 1729"> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>  </div> </div>	<p>本市はゼロカーボンシティを宣言し2050年CO₂排出量実質ゼロを目指している。目標の達成には、本市のあるべき姿に向けた革新的な技術開発が求められる。</p> <p>①カーボンニュートラルに向け、革新的な技術開発への研究に必要なフィールド提供をはじめ、産学官の連携を促す組織体制の確立に向けて、行政が主体となり事業運営を推進することが必要である。</p> <p>②脱炭素社会に向けた電動車の普及促進には、効果的な充電設備や水素充填ステーションのインフラ整備が重要である。そのために、利用ニーズを分析し適切な整備を推進する必要がある。</p> <p>③藤岡プラントの老朽化対応を契機に、ごみの焼却などで発生した熱やCO₂を資源として再生する次世代プラントへ転換し、循環型社会の実現を目指すとともに、水素社会に向けた水素の地産地消への研究も進める必要がある。</p>

要望内容	高齢者の見守り支援
------	------------------

具体的内容	① I o Tを活用した独居老人の見守り
取り上げた理由	<p>重層的な支援を通じ地域コミュニティでの高齢者世帯への見守りに対し、民生委員等への負担が大きいことやタイミングよく訪問できないなどの課題解消に向けた高齢者の見守り支援が求められる。</p> <p>①見守りが必要な高齢者宅に「I o T電球[*]」などの見守り家電を活用し、民生委員やケアマネジャーの負担軽減に加え、離れて暮らす家族の安心につながる高齢者の見守り体制への取組が必要である。</p> <p>I o T電球[*]：通常の電球と同じ規格で、電球のON/OFFを検知し1日の間に点灯と消灯の動きがない場合、電球からメールのお知らせが指定端末に送信される。</p>

要望内容	地域で支える子どもへの支援
------	----------------------

具体的内容	①持続可能な子ども食堂の支援体制の構築
取り上げた理由	<p>本市でも多くの地域で子ども食堂が誕生し、子どもたちの健全育成に寄与している。しかし、運営に係る食材確保および資金面の課題から運営が危惧されている実情を踏まえ、継続できる支援が求められる。</p> <p>①子どもたちの健全な成長と支援する団体の円滑な運営のため、協賛者の拡大やふるさと納税を活用した基金を創設し、継続的な運営につながる支援が必要である。</p>

要望内容	持続可能なまちづくりに向けたSDGsの推進
具体的内容	①SDGsパートナー活動の活性化
取り上げた理由	<p>豊田市が目指すスマートシティ構想に向け、あらゆる主体が共働して取り組む必要があるため、SDGsパートナー等の活動を支援し持続可能なまちづくりに向けた取組が求められる。</p> <p>①エコフルタウンの機能移転に向け、SDGsパートナーや市民の意見を集約し、機能の充実や情報発信拠点として強化するとともに、統合する博物館との連携も視野に入れた新たな取組が必要である。</p>

【魅力を共感するまちづくり】

要望内容	市内商業活性化への取組
具体的内容	①広域連携による商業への支援
取り上げた理由	<p>コロナ禍による経済への影響は大きく、飲食・宿泊業をはじめとした市内商業が疲弊するなか、経営危機から脱するための市内商業活性化に向けた取組が求められる。</p> <p>①新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、ジブリパークやWRCなど市内外の観光施設やイベント等を活用した相乗効果による宿泊喚起を進めるとともに、飲食等の利用促進に向けた支援が必要である。</p>

要望内容	自動運転の実用化への取組
------	---------------------

具体的内容	①自動運転実証フィールドの拡大
取り上げた理由   	<p>自動車産業の発展や地域の移動支援となる自動運転の実用化に向け、様々な環境下においてデータを幅広く収集することが重要であり、そのためには市街地を含めた実証フィールドの展開が求められる。</p> <p>①市街地での自動運転実証実験を進めるため、市役所に設置した高精度で位置を測定できるRTK※-GPSアンテナの活用を促進し、官民が連携した自動運転の実用化に向けた取組が必要である。</p> <p>RTK※：Real Time Kinematic、「相対測位」と呼ばれる測定方法のひとつで、4つ以上の衛星から信号を受信する技術で高精度（誤差数センチメートル以内）の位置情報を得ることができる。</p>

要望内容	豊田市中心図書館の利便性向上
------	-----------------------

具体的内容	①電子書籍貸し出しサービスの運用
取り上げた理由  	<p>コロナ禍による社会環境の変化にともない、ライフスタイルや働き方などの変化が増えるなか、簡単で便利な魅力ある図書館として利用しやすい環境整備が求められる。</p> <p>①デジタル化による市民サービスを推進するためにいつでも本を借り、スマホやパソコン上での閲覧や自動返却ができるなど、利用者のニーズを捉えた電子書籍の運用に向けた取組が必要である。</p>

4. 引き続き注視する項目

下記の項目については、引き続き取組を注視します。

常任委員会	項目
企画総務	・ 水素社会の推進
地域生活	・ 避難所外避難に対する整備
教育社会	・ いじめ対応に向けた体制強化
環境福祉	・ 障がい者の社会参加支援 ・ 介護業務の負担軽減
産業建設	・ 中心市街地商業の活性化

《参考》

1. 令和4年度 政策要望に向けての論点整理

【安全・安心なまちづくり】

①防災機能の強化

大規模自然災害の発生に備え、事業所と地域・行政の共働による防災活動の強化を通じて、市民の尊い生命・財産や生活を支える産業を守ることが重要である。

また、新型コロナウイルス感染症のような今後も発生し得る感染症も含め、日常生活に支障をきたす事態を想定し、防疫および発生から収束に到る対応力の強化が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 豊田市防災基本条例に基づく地域防災力・減災力の強化
- イ. 大規模災害に対する近隣自治体や事業所との連携（支援・受入体制の整備）
- ウ. 市民の防災意識向上と地域自主防災組織の体制強化（マイタイムラインの支援、各家庭への備蓄品確保推進、防災リーダー育成、地域防災力の向上）
- エ. 住宅および公共施設の耐震対策の推進（住宅の耐震診断・橋梁の耐震強化・非構造部材の耐震化）
- オ. 確実に防災情報が届く情報システムの整備（緊急メールとよた登録の推進、防災ラジオ普及促進・SNS等を活用した情報発信）
- カ. 帰宅困難者への対応（商業施設等との連携協定の強化）
- キ. 女性や災害弱者に配慮した避難所運営・備蓄の強化
- ク. 豊田市総合雨水対策マスタープランの着実な実施
- ケ. 医療、教育、経済をはじめとする生活基盤の確保と復旧に向けた各種支援
- コ. 避難所外避難者への支援強化

②防犯体制の強化

防犯体制の強化は、市民の関心が高く市民の尊い生命財産を守る取組が求められる。本市は、自動車関連窃盗、住宅対象侵入盗に加え、近年、特殊詐欺が多発しており市民の防犯意識の向上や地域、関係機関との連携強化による安全・安心なまちづくりが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第6次豊田市防犯活動行動計画2019-2021」の推進と効果検証を踏まえた次期計画の策定
- イ. ネット犯罪被害者の低年齢化を受けた子どもを犯罪から守る取組みの強化
- ウ. 学校及び通学路の安全確保
- エ. 防犯カメラ・表示の効果的な設置拡大
- オ. 特殊詐欺などに対する防犯意識の啓発強化や効果的な対策による抑止
- カ. 自主防犯団体との連携による防犯活動の強化
- キ. 自転車の無施錠犯罪削減への取組強化

③交通事故防止対策の強化

全国の交通事故死者数は統計以来最少となり、愛知県においても2年連続で全国ワース

ト1位を返上することができた。しかし本市においては昨年同様、16名が亡くなり、引き続き歩行者・自転車事故、特に高齢者への対応が急務である。交通事故死者数の多さを重く受けとめ、交通事故防止対策の更なる強化が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 豊田市交通安全学習センターを活用した市民への積極的な意識啓発
- イ. 高齢者の交通事故防止対策（後付け安全運転支援装置設置費補助・交通安全簡易診断・高齢者の免許証返納への取組）
- ウ. 自転車事故の防止対策（条例や運転ルールの周知強化、自転車道整備空間の効果検証）
- エ. 豊田都市交通研究所の社会実験の成果を踏まえた施策展開（プローブデータを活用した危険箇所への対策）
- オ. 生活道路などにおける人優先の安全な歩行空間の確保（横断歩道のカラー舗装化、イメージランプ設置、ゾーン30・キッズゾーン導入）
- カ. とよた3Sドライブ及び歩行者保護モデルカー活動の更なる推進
- キ. 交差点におけるガードレール・防護柵による歩行者保護

④消防力の強化

全国で多発する大規模自然災害への備えが急務であり、消防を取り巻く環境は大きく変化している。市民の生命財産を守るため、更なる消防力の計画的な強化が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3次豊田市消防整備基本計画2018－2024」の着実な推進
- イ. 災害対応力の強化（高度救助体制の構築、救助資機材の整備）
- ウ. テロ災害を想定した現場対応力の強化
- エ. 消防救急デジタル無線および消防指令システムの着実な運用
- オ. 消防職員育成プログラムによる若手消防職員の育成
- カ. 消防団員の確保と育成に向けた環境整備
- キ. 先端技術を活用した消防力の更なる強化（消防用ドローン・net119・メール119・動画による119番通報システム）

⑤上下水道基盤の整備

市民の豊かで健康的な生活の確保や、産業の活性化には、安全、安定、安価な水の持続的な供給が重要である。そのために災害に強いライフラインの確立に向けた上下水道基盤の構築を促進することが重要であるとともに、良質な水道水の安定供給と、下水道の水質保全対策を着実に推進することが必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 水の安全性向上のための「新・豊田市水道ビジョン2015－2030」の着実な推進
- イ. 地震災害に強い安全・安心な上下水道機能の構築（水道施設の地震災害対策事業の推

- 進、下水道管路長寿命化工事の推進)
- ウ. 安価で安定した水供給のための上水道施設の統廃合の推進
- エ. 上水運用センターの効率的な組織運営
- オ. 間伐等の推進による水源整備の推進
- カ. 豊田市下水道管路施設包括的維持管理業務契約による適正な組織運営力、将来を見据えた財務体制強化

⑥定住促進

本市は、家族形成期世帯の転出超過が課題であり、住宅地開発における要件緩和とともに、全国トップクラスの子育て支援をはじめとする定住情報など、まちの魅力を発信することが重要である。また、更なる定住促進には、本市の特性を勘案した公共交通の最適化などの推進が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3次豊田市住宅マスタープラン2018－2027」の確実な推進
- イ. 土地区画整理事業の推進
- ウ. 地区計画の推進による市街化調整区域の効果的活用
- エ. 都市計画法に基づく宅地開発
- オ. 都市と農山村地域の共生
- カ. 鉄道駅周辺の民間開発誘導のための規制緩和
- キ. 本市の魅力を総合的に発信するシティプロモーションの実施
- ク. 名鉄三河線高架化・複線化事業の推進
- ケ. 愛知環状鉄道の利便性向上への取組
- コ. 空き家、既存住宅の利活用による定住促進
- サ. 農地に係る法規制の緩和
- シ. 山間地域への移住・定住対策の強化

⑦中心市街地の活性化

駅前百貨店の撤退に加え周辺自治体で大規模商業施設の開業が相次ぐなか、選ばれる都心に生まれ変わることが求められている。また、2027年に予定されているリニア中央新幹線の開業によるリニアインパクトを波及させ、市内経済活性化につなげるためにも公民連携によるにぎわい創出と回遊性のある活性化事業を展開することが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3期豊田市中心市街地活性化基本計画2018－2022」の推進
- イ. 都心公共施設活性化の推進
- ウ. 環境変化を踏まえた「都心環境計画2016－2027」の随時評価と見直しによる都心空間の活用と再整備（豊田市駅舎の再整備、ウォークブル推進都市の実行、大型商業施設の活性化）

工. 商業活性化に向けた人材育成の強化と空き店舗の活用
オ. 既存駐車場の効率的な活用も含めた駅前周辺駐車場の利便性向上

⑧都市の更なる成長を支える道路整備

国県幹線道路整備事業に併せて、産業拠点の拡大や住宅開発等、また新たな市街地への誘導を促進する利便性の高い道路ネットワークの構築が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 広域交流や緊急輸送道路・都市機能を高める道路ネットワークの構築
- イ. 安全安心で快適に利用できる生活道路や幹線道路の整備
- ウ. 産業拠点や研究開発施設などへのアクセス道路整備推進

⑨人と環境にやさしい交通体系整備

すべての生活者にとって住みやすいまちづくり、すべての利用者にとって利用しやすい交通インフラの提供に向けて、交通機関・交通施設・道路等を合わせた総合的な整備が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. ユニバーサルデザインによる安全で安心して利用できる交通環境整備の推進
- イ. 環境にやさしい公共交通機関の充実
- ウ. MaaS-City とよた構築に向けた取組の推進
- エ. 道路整備、交差点改良等によるCO₂削減の観点での渋滞対策
- オ. 高齢者の運転免許証自主返納に対応する移動手段の確保
- カ. 公共交通空白地区ならびに中山間地域の移動支援体制の構築
- キ. ビッグデータを利活用した道路整備等につながるしくみづくり
- ク. 自動運転レベル4実現への実証実験推進

⑩情報化（ICT）戦略への対応

ICT技術の利活用により、多様な産業分野から身近な生活まで新たな価値の創出や社会的課題の解決に向けた環境整備が必要であるとともに、情報セキュリティ対策と利便性向上の取組が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. SNSを活用した効果的な市政情報発信の推進
- イ. 公衆無線LANの整備拡大
- ウ. マイナンバー制度の効果的運用とカード取得啓発
- エ. 情報セキュリティの強化
- オ. 豊田市デジタル強靱化戦略の着実な推進

【企業の発展と働く人がイキイキ暮らせるまちづくり】

①勤労観・職業観の醸成

将来を担う子どもたちが本市の強みであるものづくりを通して、創造する喜びを体験するとともに、新しい技術を生み出し世界と競い合える人材を育てる教育をすることが求められ、本市全体でものづくりを支える体制が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 科学やものづくり体験学習の拡充
- イ. ものづくりサポーター人材確保
- ウ. 豊田少年少女発明クラブ等の活動支援
- エ. 職場体験学習の充実
- オ. 情報活用能力の養成に向けた取組

②適正な労働環境の整備

適正な労働条件の確立と労働関係法令の遵守に向けて取り組むことは、すべての労働者の命と生活を守り企業の持続可能な発展へ寄与するものである。また、近年製造業へ導入が進んでいるAIやIoTをはじめとした、第4次産業革命へ対応するための人材確保や育成をおこなう環境整備が求められている。

<着目すべき項目>

- ア. 労働関係法令の遵守に向けた周知・啓発
- イ. 適正な事業運営に対する法令遵守の取組強化（新・担い手3法改正、偽装請負、違法派遣、外国人研修・技能実習制度の乱用等への対応）
- ウ. 外国人労働者の定住化にともなう就業環境の支援・改善（教育、労働、社会保障、医療等の課題への対応、技能育成や資格取得等の支援策）
- エ. 労働災害防止に向けた安全管理体制、リスク低減対策取組の強化
- オ. メンタルヘルス疾患や自殺に対する相談体制や予防教育の充実
- カ. 公契約条例の制定に向けた制度基盤の整備

③雇用の安定と創出

就労を希望するすべての人が安心して働くことが大前提であり、雇用の創出と安定を旨とした雇用環境の整備に最大限の支援が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 若年者、ニート、就職氷河期世代の適切な就業・定着支援の推進
- イ. 企業との連携による女性の能力開発や就労支援
- ウ. 継続雇用制度に基づく70歳まで働ける職場環境整備と高齢者の就労支援
- エ. 障がい者への就労支援
- オ. 日本語教育、職業訓練、技能習得機会の提供による外国人の就労支援

- カ. 保育従事者の確保・定着に向けた業務改善
- キ. テレワークをはじめとする働き方改革推進に向けた支援の拡大
- ク. 有事における雇用維持および就労支援
- ケ. スキルアップ支援・リカレント教育の充実

④産業誘致の推進

産業の強靱化に向け、新技術開発拠点づくりの支援などの製造業誘致や、企業立地促進の取組を強化するとともに、第4次産業革命による産業構造の変化を踏まえた取組を強化していくことが必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 高速道路 I C 周辺における産業用地確保に向けた取組の強化
- イ. 産業用地の情報提供、開発手続の迅速化、インフラ整備の支援等、民間開発支援策の推進による企業立地の促進
- ウ. 豊田市企業立地奨励条例の周知と積極的な活用による次世代産業を含めた多角的産業分野への支援強化
- エ. スタートアップ支援事業の推進

⑤中小企業・小規模事業者への支援

中小企業や小規模事業者が社会の潮流を生き抜くためには、イノベーション創出・新たな事業展開・人材育成が必要であるが、厳しい経営状況や会社の体力を踏まえるとその対応は難しく、産学官が連携し事業継続・拡大や産業構造への変革に向けた支援が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. とよたイノベーションセンターの機能充実
- イ. ものづくり創造拠点 SENTAN の活用によるものづくり人材の確保・育成等に関する支援
- ウ. 相談窓口や技術・経営相談のワンストップサービスの推進
- エ. 新製品・新技術等、開発補助制度を活用した技術支援と生産基盤の強化
- オ. 事業承継への支援

⑥地域に根差した農林業の推進

地域と行政が一体となり農林業の6次産業化を推進することで、地域資源を生かした新たな商品やサービスの開発を進めることが重要である。将来に渡り農業従事者を維持させるとともに、中山間地域の活性化につなげるための耕作放棄地解消に向けた取組が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 6次産業化の先達、国・民間の専門家を活用した経営の改革
- イ. マーケティング体制整備による流通や販路拡大
- ウ. 農林業資源の活用によるバイオマス、自然エネルギー等の推進
- エ. 災害に強い農林業インフラ構築
- オ. ロボット技術やICTの活用によるスマート農林業の推進
- カ. 特産品開発アドバイザー派遣や試作支援の推進
- キ. 豊田市中核製材所を拠点とした林業の活性化
- ク. 農地バンク制度を活用した耕作放棄地解消事業の推進
- ケ. 農林業に携わる担い手の確保
- コ. 鳥獣害対策の推進
- サ. 「第3次豊田市農業基本計画2017-2024」の着実な推進
- シ. 豊田市農林産物の積極的な消費の推進
- ス. 県と連携した家畜伝染病蔓延防止の推進

⑦観光を生かしたまちづくり

国際的イベントなどの開催に向けた、観光まちづくりを推進するための人づくりや、観光情報の提供、お土産、特産品の販売を展開することに加え、市内における宿泊機能の拡大など、国内外からの誘客につながる環境整備を推進する必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. ツーリズムとよたと連携した観光の産業化に向けた取組
- イ. 地元の特性を生かした観光づくり
- ウ. オールとよた魅力発信事業の推進
- エ. 「豊田市観光実践計画2021-2024」の着実な実践
- オ. おいでん・さんそんセンターによる都市と農山村交流の推進
- カ. インバウンド観光に対応する戦略的観光事業の推進

【誰もが平等に暮らせるまちづくり】

①自分らしく暮らせる社会の実現

男女という性別のみならず、さまざまな立場である誰もが自らの発言と行動に責任を持ち、また他人を尊重できる地域社会の実現が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 固定的性別役割分担の解消、行動変容の促進
- イ. ドメスティック・バイオレンスへの対応
- ウ. LGBTQへの理解促進
- エ. 地域共生社会の実現に向けた促進および意思疎通の円滑化への具体的な取組

②勤労者の男女均等待遇の確立

雇用・就業形態の多様化に加え女性の活躍が期待されるなか、雇用形態や契約期間等の如何に関わらず、均等待遇の実現に向けた取組が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 雇用環境の整備や社会環境づくりの推進
- イ. 女性のキャリアアップと定着に向けた取組
- ウ. セクシャルハラスメント等、各種ハラスメントへの対応

【生涯にわたりみんなで支え合うまちづくり】

①子ども・子育てを社会全体で支えるしくみの構築

親としての役割を果たしながら、安心して子どもを産み育てることのできる社会環境整備に向け、国の法改正も注視し社会全体で子育てを支える体制づくりが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 仕事と生活の両立を支えるための社会環境整備
- イ. イクボスの拡大による子育てしやすい職場環境の整備
- ウ. 社会全体で子育てを支える体制整備（病児・病後児保育、ファミリーサポートセンター等の子育て支援策の充実）
- エ. 放課後児童対策の更なる充実
- オ. 年間を通じた待機児童解消に向けた取組（民間移管・小規模保育等の推進）
- カ. 保育士の人材確保と就労環境改善による定着と保育の質の向上
- キ. 「第3次豊田市子ども総合計画2020－2024」の推進対応

②子どもの健全育成支援

子どもを持つすべての保護者が、自信と責任を持ち安心して子育てができる支援が重要である。また児童虐待防止対策の強化により、子どもの権利が守られ健全に育まれる社会環境づくりに努め、妊娠期から子育てを社会全体で切れ目なく支援をすることが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 子育て支援センターの環境の充実
- イ. 児童虐待撲滅に向けた体制強化
- ウ. 出産から子育てに係る経済的負担の軽減（生活困窮者への対応）
- エ. 産前産後支援の着実な推進
- オ. 若者サポートステーションの活用による青少年の健全育成
- カ. とよた急病・子育てコール24の着実な運用
- キ. 多胎児家庭に対する支援強化

③高齢者福祉の充実

「第8期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画2021-2023」の取組である、地域共生の推進や在宅医療と福祉の連携強化、介護人材の確保・育成を進め高齢者福祉・介護サービスの質の向上を図る必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. 健康と福祉の総合相談窓口の着実な運営
- イ. 仕事と介護のバランスのとれた施策の充実
- ウ. 特別養護老人ホーム施設等の待機者解消策の推進
- エ. 介護従事者の労働条件の改善と人材の確保・定着率の向上（介護ロボット導入促進）
- オ. 在宅介護の負担軽減（介護ヘルパー派遣・家族支援など）
- カ. 虐待、孤独死の防止に向けた対応
- キ. 認知症初期集中支援チームの着実な運用
- ク. 要支援1・2に対する支援サービスの推進
- ケ. かえるメールとよた登録の推進
- コ. 成年後見支援センターの啓発と市民後見人の拡充
- サ. 老々介護の早期対応の推進
- シ. 在宅療養の推進

④障がい福祉の充実と自立支援

障がい者の自立支援と社会参加促進の観点から、利用者の実情に応じた障がい福祉サービスの適切な提供と支援・環境整備が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第5次豊田市障がい者ライフサポートプラン2021-2026」の推進による、障がい福祉サービスの充実
- イ. 障がい者の自立支援策および就労の推進
- ウ. 発達を促す早期療育施設の充実
- エ. 特別支援学校の再整備支援

⑤医療機関への適正受診と医療サービスの提供

市民が安心して医療サービスを受けるためには医療施設と市民の適切な受診行動が重要になる。加えて、医療従事者の労働環境の改善は医療の安全性の向上につながる。また、多様な医療ニーズへの対応と負荷軽減のためには、医師・看護師等の増員が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 豊田地域医療センター再整備の着実な推進
- イ. 慢性期医療体制の充実
- ウ. 予防接種の適切な対応

- エ. 適正な受診行動につながる意識啓発
- オ. 医師・看護師等医療従事者の仕事と生活の両立支援
- カ. 医療費抑制に向けた地域目標への対応
- キ. 在宅医療と介護の連携に向けた人材確保と育成
- ク. 高額医療費の費用支払いなどレセプト審査の強化
- ケ. とよた急病・子育てコール24の着実な運用と周知
- コ. 感染症予防への取組強化と医療従事者・医療機関への支援

⑥健康増進

ライフステージに併せて、市民が自ら取り組む心と体の健康づくりを推進するとともに、各地域の健康課題を把握し地域の実状にあった健康増進と生活習慣の改善行動への取組が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 健康づくりに対する市民意識の向上
- イ. 介護予防の推進
- ウ. 特定健診・特定保健指導の受診率の向上
- エ. がん検診受診率の向上に向けた関係機関との連携
- オ. 豊田市歯と口腔の健康づくり推進条例を踏まえた取組
- カ. 自殺防止に向けた多様なゲートキーパーの育成
- キ. 地域健康カルテを活用した地域健康課題の解決と横断的な展開

⑦安全安心な食料の確保と地産地消による食料自給率の向上

「第3次豊田市食育推進計画2016-2022」に基づき輸入品を含む一貫した食の安全性・品質管理に努めるとともに、本市の特色を活かした農産物の積極的なPRによる地産地食の啓発・普及を図る必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. HACCPに沿った衛生管理による食品の製造・流通等の安全性強化
- イ. 食料自給率の向上（中長期的視点での農業支援策の充実と後継者育成）
- ウ. 学校をはじめ家庭や地域、民間団体、企業等と連携した食育推進に向けた取組
- エ. 地産地食の奨励（農業の地域活性化、農産物の輸送に伴う環境負荷軽減）

⑧生活保護受給者への自立支援

生活保護受給者の自立の観点から、受給者の実情に合ったものか否かの検証を図り適切な支援が必要である。また、生活保護世帯のニーズ等を考慮した自立支援の体制づくりが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 真に支援が必要な人への支援策の充実
- イ. 生活保護受給者への就労支援等に関わる相談体制の充実
- ウ. 自立支援プログラムの充実

⑨高齢者の社会参加の促進

定年を迎えたシニア世代が豊かな経験や技能を地域活動に生かし、生涯活躍できる環境整備を推進するとともに、高齢者への多様な就業機会の確保・拡大を図る必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. 生きがいづくり推進支援
- イ. シルバー人材センターの活用と人材確保
- ウ. 体力に応じた柔軟な働き方への環境整備
- エ. 市民活動センター等の積極的な活用による多様な学びの場の提供
- オ. 地域資源マップを生かした社会参加への促進

【家庭・地域・学校が連携した教育の実現】

①家庭・地域の教育力向上

家庭・地域・学校がそれぞれの責任を果たし協力しながら、次世代を担う子どもたちの健全育成に努めるための体制づくりが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 親ノートの着実な活用の推進と、親育ち交流カフェ等の参加率向上に向けた取組強化
- イ. 地域と連携した教育環境づくりの推進（地域学校共働本部、豊田市版コミュニティ・スクール等）

②ゆきとどいた教育の実現

社会環境の変化などに対応するきめ細かな教育が求められるなか、いじめや不登校がなく子どもが夢を持っていきいきと学ぶことのできる、誰一人取り残さないゆきとどいた教育を地域・社会が連携して実現することが必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「教員人材育成プラン」の着実な運用
- イ. 「豊田市教職員多忙化解消プラン2012－2023」の実践による健全な教育環境の充実
- ウ. 学校規模適正化への取組
- エ. 少人数指導の効果検証と少人数学級の実現に向けた環境整備
- オ. 学習指導要領に基づいた教育の推進

- カ. 特別支援教育に対する支援
- キ. 外国人児童生徒に対する教育支援
- ク. 国際社会で生き抜く力を付けるグローバル教育の推進
- ケ. 子どもの体力向上に向けた取組（学校・地域・企業の連携）
- コ. 行政・学校・家庭との連携によるいじめ・不登校への迅速な対応
- サ. G I G Aスクール構想の着実な運用

【環境にやさしいまちづくり】

①環境リーディング都市の推進

環境モデル都市ならびに、次世代エネルギー・社会システム実証事業の環境技術を集約したとよたエコフルタウンなどによる安心で活力と魅力あふれる低炭素社会を提案し、S D G s の取組につなげることが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市S D G s 未来都市計画2 0 2 1－2 0 2 3」の着実な推進
- イ. 市民主体の低炭素化に向けた活動の推進
- ウ. 環境技術の活用等による低炭素交通の推進
- エ. 中小企業のC O₂削減や環境経営の支援
- オ. 「豊田市環境基本計画2 0 1 8－2 0 2 5」の推進
- カ. ゼロカーボン市区町村協議会における取組の推進

②地球温暖化対策の推進

2 0 5 0年C O₂排出実質ゼロを目指し、具体的な行動指針を示しながら、カーボンニュートラルの取組を今後も市が主導性を発揮し、排出量が増加している運輸、民生部門を中心に事業者、行政、市民が連携し実効性ある取組を推進することが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市地球温暖化防止行動計画2 0 1 8－2 0 2 5」の推進
- イ. S D G s ポイント制度の周知と協賛企業の拡大
- ウ. 市内クールシェアの拡大と広域連携
- エ. 企業と連携した次世代自動車の普及
- オ. 公共施設等での省エネ・創エネ設備の積極導入
- カ. 蓄電システム・Z E H住宅の普及促進
- キ. 食品ロス低減に向けた積極的な取組
- ク. とよたS A K U R Aプロジェクトの推進

③循環型社会の確立

資源循環型社会の構築に向け、限りある資源を効果的に循環利用する3 R（リデュース・

リユース・リサイクル) の推進やリユース工房の活用・啓発の取組が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市一般廃棄物処理基本計画2018-2025」の推進
- イ. 家庭、地域、行政が一体となったごみ排出量の抑制に向けた取組
- ウ. 緑のリサイクルセンターの有効利用
- エ. リサイクルステーションとリユース工房を核としたリサイクルの推進
- オ. 災害時における「豊田市災害廃棄物処理計画2018-」の適切な対応

④自然と共生する社会の推進

本市の豊かな自然を生かし地球温暖化防止および自然災害防止等、森林・河川の持つ保全機能の維持に向けた管理・整備を推進することが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市100年の森づくり構想2018-2038」に基づいた、森林保全を広く市民が理解する仕組みづくり
- イ. 生物多様性に関わる保全および環境学習の推進
- ウ. 大気、水質汚染の防止（光化学スモッグ、PM2.5、生活排水等）
- エ. 東海丘陵湧水湿地群の保全活動の強化

⑤エネルギー政策の推進

国の次期エネルギー基本計画において、エネルギー分野を中心とした2050年のカーボンニュートラルに向けた道筋を示し、再生可能エネルギーを最大限導入するとされており、「豊田市地球温暖化防止行動計画2018-2025」の推進による、更なる低炭素社会の実現への取組が期待される。また首長誓約を受け、広域連携による持続可能なエネルギーアクションプランを積極的に進めていくことが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. エネルギーの地産地消の推進と活用モデルの確立
- イ. とよたエコライフセンターの有効活用
- ウ. 充電・充填施設設置や水素ステーションなどの交通インフラの整備
- エ. SDGsとよた再エネチャレンジの更なる実装

【持続可能なまちにつながる行財政改革】

①財政基盤の体質強化

将来的な福祉需要の伸びや公共施設の維持管理等、義務的経費が増加するなか、自治体の財政基盤の強化・充実が急務である。加えて、税制改正による法人市民税の一部国税化やコロナショック、また自動車産業の集積による市場リスクの影響などの課題を踏まえ、

総合的な視点で本市の財務体質強化が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 財政状況等、市政経営の見せる化に向けた取組
- イ. 広域行政圏・地方分権の推進
- ウ. 「公共施設等総合管理計画2017-2026」の着実な推進
- エ. 新たな歳入確保に向けた取組
- オ. 官民連携による民間の資金やノウハウの活用（SIBなど）
- カ. 業務の選択と集中による歳入に見合った予算規模へのソフトランディング
- キ. 市有地の利活用の推進

②事業の見直し

想定される歳入減（地方交付税合併特例・法人市民税一部国税化）に対応するため、的確で効率的な行政経営が求められる。そのためには、事業を見直すしくみを有機的に関連付け、ひとつのシステムとして確立するとともに、その考え方について職員一人ひとりに浸透させ、職員の意識や具体的な行動の変革へとつなげていくことが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3次豊田市地域経営戦略プラン2021-2024」の着実な推進
- イ. 改廃を含めた体系的な事業見直しの推進
- ウ. 職員の意識改革および研修の場の提供
- エ. 市民の意見を反映する制度の充実
- オ. 補助制度等、社会情勢に適応した制度への見直し
- カ. 地域自治システムの効果的な運用に向けた見直しと評価の実施
- キ. AIを始めとする革新的技術の導入による業務改善
- ク. 職員の在宅勤務の推進

③入札契約制度の適正化

入札不調・不成立の多発、地域経済の活性化、品質の更なる向上、透明性・公平性の確保など、様々な課題に対し地産地消の考えのもと地域内経済循環を志向した工事契約制度を構築する必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. 地域内での物品購入促進
- イ. 工事技術者不足解消に向けた若者・女性への育成支援強化
- ウ. 入札不調・不成立の防止に向けた工事発注時期平準化等の取組
- エ. 工事関係委託の品質確保

④地域経営システムの構築

「第8次豊田市総合計画 後期実践計画2020-2024」を着実に推進するため、地域と連携することで、地域経営体の一員として地域の持続的な発展に向けて活動することが求められる。地域経営を進めるしくみとして、行政改革と多様な取組の推進による地域経営システムの構築が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市都市計画マスタープラン2018-2027」に基づいた都市機能および居住誘導の推進
- イ. 多様なまちづくりの担い手の連携促進の場づくり
- ウ. 地域主体で策定する「地区まちづくりビジョン」の推進
- エ. 人口減少社会への対応につながる出会いの場の創出

《参考》

2. 令和3年度 政策要望の回答に対する評価

【安心して暮らせるまちづくり】

要望内容	犯罪から市民を守る取組
具体的内容	①特殊詐欺被害の未然防止
主な回答内容	①訪問事業において、自己防衛能力の向上を図るための啓発に努めるとともに、効果的な対策を検証していく。また詐欺の前兆電話が確認された場合や被害が発生した場合は、緊急メールとよたや防災ラジオなどで迅速な情報提供により注意喚起を継続して実施。
評価	①訪問事業における高齢者へのヒヤリングを参考に、効果的な対策を検証していくことを評価する。今後は、継続的な啓発や効果的な対策を講じるなど高齢者の詐欺被害撲滅となることに期待する。
① - ○	

要望内容	安全な交通環境の整備
具体的内容	①生活道路における歩行者の安全確保
主な回答内容	①歩行者・自転車の安全確保が特に必要とされる地域においては、ゾーン30の導入を積極的に働きかけ、豊田警察署及び地域との合意形成を図りながら拡大を進めていく。またゾーン30の区域内では立体的に見せる路面標示や、交差点のカラー舗装での視覚的効果による速度抑制を進めていく。
評価	①豊田警察署及び地域との合意形成を図りながら、ゾーン30拡大の推進を評価する。今後はゾーン30以外の生活道路においても路面標示などを整備し、車両の速度抑制につながる安全対策が更に推進することを期待する。
① - ○	

要望内容	災害に強いまちづくり
具体的内容	①感染症を踏まえた避難所の整備 ②避難所外避難に対する整備 ③消防団員確保に向けた取組
主な回答内容	①必要な資機材を補助制度の対象とするほか、運営体制の構築は自主防災会を通じて支援を継続していく。今後も新型コロナウイルス感染症の新たな知見や社会の動向等を踏まえながら必要な対策を講じていく。 ②避難所外避難者への情報提供や物的支援がおこなえるよう、地域の自主防災会等と連携して体制確保を進め、併せて安否確認や避難状況の確認が容易におこなえるようアプリ等の活用と、食料や物資の提供に資する民間事業所との協定等の拡大も考えていく。 ③令和2年度の消防団員意識調査結果を踏まえ、あり方検討委員会において、行事の検討や活動環境の改善を進め、消防団員の加入促進につなげていく。また、合同訓練を通じて相互の連携強化を更に図っていく。
評価	①自主避難場所の資機材への整備や、自主防災会を通じた運営体制構築への支援を評価する。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた避難所運営の支援に期待する。
①－○ ②－○ ③－○	②避難所外避難者の安否確認や避難状況の確認にアプリ等の活用を検討することを評価する。今後は避難要支援者に対する避難所外避難への支援も併せて安否確認と情報発信の整備推進に期待する。 ③消防団活動における行事の検討や環境の改善を推進することを評価する。今後は訓練の効率化やハード整備により、魅力ある消防団活動を発信し加入促進となることに期待する。

【学び・育むまちづくり】

要望内容	少子化対策への取組
具体的内容	①不育症治療への支援
主な回答内容	①関係省庁において、不育症検査の保険適用が検討されており、閣議決定された「全世代型社会保証改革の方針」にも不育症検査の新たな支援が明示されたことを踏まえ、国の動向を注視しつつ、令和3年度は医療機関等と協議し、本市の不育症検査への経済的支援の在り方について検討していく。
評価	①医療機関と協議を始めるなど、不育症の取組が前進できたことを評価する。今後は国の動向を踏まえ、医療機関との協議により不育症患者への経済的支援が早期に実現されることを期待する。
① - ○	

要望内容	ひとり親世帯への支援の取組
具体的内容	①養育費保証の支援
主な回答内容	①国の『女性活躍に関する「重点方針2020」』において、養育費不払いを解消する法改正の検討が明記されており公的機関による養育費徴収や立て替える制度が実現されれば、より実効性が向上することから、今後の国の動向を注視し困難を抱えるひとり親世帯への支援策の在り方について検討していく。
評価	①国の施策に加え、本市独自の支援策を検討していくことを評価する。今後もひとり親世帯が不利益を被ることがないよう、あらゆる状況を踏まえた経済的支援の拡充など、子育てするなら豊田市への取組が充実されることを期待する。
① - ○	

要望内容	子どもを虐待から守る取組
具体的内容	①虐待相談体制の強化
主な回答内容	①虐待のケースワークを担当する育児支援専門員を2名増員の14名とし、相談体制を強化する。また育児支援専門員には虐待対応の専門性が求められており、経験の蓄積が必要なことから、より長く勤務していただけるよう処遇の改善を図る。
評価	①個々の虐待通報に対して丁寧に対応するための育児支援専門員の増員や、働きがいにつながる処遇改善の取組を評価する。今後も現場の状況を踏まえながら遺漏なく虐待対応ができる体制整備をすすめ、早期発見・重篤化防止の取組が更に推進することを期待する。
①－〇	

要望内容	保育環境の向上
具体的内容	①会計年度任用職員保育士の勤務形態拡大
主な回答内容	①正規保育士が保育業務に専念できるよう、「事務員」を始め、園の環境整備などを担う「用務員」、午前中を中心に保育の補助をおこなう「昼パート」の配置を拡大していくとともに、引き続き多様な働き方を検討して、保育現場の状況に合わせた柔軟な運用に努め、正規保育士の負担軽減を進める。
評価	①保育業務補助の充実を通じて、正規保育士の負担軽減につなげることを評価する。今後は各園の負担が均等に軽減できるよう、補助員の適正配置を期待する。
①－〇	

要望内容	不登校児童・生徒への支援強化
具体的内容	①不登校児童・生徒の居場所の拡大 ②別室登校児童・生徒の教室復帰支援
主な回答内容	①地域学校共働本部や民間通所施設等とも連携を図ることで、学校以外の居場所づくりの拡大を模索していく。またパークとよた以外の施設における適応指導教室の可能性を模索していく。 ②自分の学級以外で過ごす児童・生徒については、教職員による支援に加え、学習用タブレットを活用した学習支援も段階的に実施していく。また「別室登校児童生徒の状況調査」を市内全小中学校で実施するとともに、結果を集約して今後の別室登校児童・生徒への効果的な指導方法の構築に生かしていく。
評価 ①－○ ②－○	①居場所の拡大に向けて、各主体と連携して様々な可能性を模索していくことを評価する。不登校への対応は速やかに実施することが重要であるため、今後は居場所拡大の取組にスピード感を持たせるとともに、対応する適応指導教室のさらなる充実に期待する。 ②国の定義が定められていないなか、市として早期に状況を把握し、対応していくことを評価する。今後は教室復帰に向け、教員の支援のみならず、専門的な人材等を活用するなど、児童・生徒に寄り添った対策が講じられることを期待する。

要望内容	教育環境の整備
具体的内容	①オンライン授業に向けた整備推進 ②教員の多忙化解消とメンタルヘルス対策強化
主な回答内容	①学習用タブレットでオンライン授業が円滑におこなえるように、高速大容量インターネット回線網を新たに整備する。家庭での利用や不登校児童生徒の学習支援については、学校での学習用タブレット活用が軌道に乗ったところで、家庭への持ち帰り訓練を実施し、訓練状況を踏まえて段階的に運用を見直していく。 ②教育職員の時間外在校等時間の上限と削減目標を定めた「豊田市教職員多忙化解消プラン」に沿って、取組を促進していく。高ストレスと判定された教職員には、早期に産業医との面接指導を勧奨し、指導後の措置について課題把握と支援体制の強化を図るなど、個別にきめ細かな支援を実施していく。
評価	①オンライン授業の柔軟な対応に向けた取組の方向性を評価する。今後は不登校児童・生徒や入院している児童・生徒への学習支援の実現に向け、セキュリティや規制等の課題を解決し、早期に運用が確立されることを期待する。
①－○ ②－○	②新たな時間外在校等時間の上限・削減目標に向けて、教員の負荷軽減を進めていくことや、メンタルヘルス対策を強化することを評価する。現在も80時間/月超過0%には至っていないため、新たな目標が達成できるよう「教職員多忙化解消プラン」の着実な実践とともに、結果を適宜評価し、改定も検討するなど柔軟に取り組むことを期待する。

【くらしを支えるまちづくり】

<p>要望内容</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を踏まえた財政対応</p>
<p>具体的内容</p>	<p>①財政状況に合わせた施策の推進 ②国県補助金事業の積極的な活用</p>
<p>主な回答内容</p>	<p>①コロナ禍の厳しい歳入状況であるが、市民生活に直結する行政サービスは予算を確保したうえで、第8次総合計画後期実践計画重点施策へ優先的に予算配分を行い着実に推進する。また、歳出削減は、選択と集中により「事業・事務の最適化」の取組を継続し、効果を最大限に発揮していく。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症対策の事業は、中核市市長会などを通じて最大限、国・県の支援を受けられるよう働きかけていく。また、東京事務所や省庁等派遣職員と連携し、国県補助制度の情報収集をおこなうとともに、採択を受けるための事業手法の検討を進め、積極的な確保に全庁を挙げて取り組んでいく。</p>
<p>評価</p> <p>①－○ ②－○</p>	<p>①当初予算では、市民の命と安心を最優先に守り、第8次総合計画後期実践計画を着実に進める予算配分であることを評価する。今後は、事業事務の最適化として行政手続きのオンライン化などDXの推進による改革に期待する。</p> <p>②国県補助制度への積極的な取組を評価する。今後も財務体質の強化に向けた国県補助金の更なる獲得に向けて、あらゆる情報収集による取組の推進を期待する。</p>

要望内容	公共事業における適正な公契約の構築
具体的内容	①公契約条例の制定
主な回答内容	①「豊田市公契約基本方針」を見直し、労働条件の確保の義務付け市内企業優先策の展開等、確固たる制度基盤の整備を図るべく検討組織を設け、令和3年度を目途に公契約条例を制定する。
評価	①令和3年度中の公契約条例の制定に向けた検討委員会の立ち上げを評価する。今後は、先端技術を活用して行政と事業主双方が負担とならないように取り組んでいくように期待する。
①－〇	

要望内容	地域産業を支える取組
具体的内容	①ITを活用した生産性向上支援
主な回答内容	①新たな事業展開や生産性向上を図るため、ベンチャー企業とのマッチングや「DXセミナー」を新たに開催し、積極的に導入を目指す企業に対しアドバイザー派遣やIoT研究会への参画を促す。また、令和2年度には人材育成事業を改変しており、今後もプログラムの見直しを進める。
評価	①ITやDXの促進による業務改善・体質強化に向け、マッチングの実施や実情に合ったプログラムの改変を評価する。今後は、中小企業のデジタル技術の積極的な導入を支援し、体質強化につながることを期待する。
①－〇	

要望内容	中小企業・小規模事業者の働き方支援
具体的内容	①テレワークの導入支援
主な回答内容	①令和2年度創設の導入支援補助金を令和3年度も継続するほか、セミナーおよび相談会の開催・専門家派遣制度を活用し中小企業等の支援を継続する。また、市内事業所の奏功事例などを発信することで普及に向けた啓発に努める。
評価	①多様な働き方の実現に向け、補助金制度の継続および奏功事例などの発信による啓発活動を評価する。今後は、仕事の変革に留まらず新たな事業創出につながる施策に期待する。
①－〇	

要望内容	住宅需要に応える既存宅地の活用
具体的内容	①空き家を活用した定住促進
主な回答内容	①「豊田市空家等対策計画」に基づき、所有者等へエンディングノート活用の紹介やセミナー・相談会を開催するとともに、地域に向けても空家等の課題や対策の啓発に努め、退去後の有効な活用につながる定住促進を進める。
評価	①空き家所有者等への啓発推進、ならびに自治区への啓発を進めることを評価する。今後は、空き家対策が定住人口の増加に寄与するとともに、治安向上による安全安心な住環境の創出につながることを期待する。
①－〇	

要望内容	将来を見据えた道路整備
具体的内容	①社会経済情勢を反映した道路整備の推進
主な回答内容	①都市の骨格となる幹線道路ネットワークの早期整備に向け、国と連携して事業促進を図っていくと同時に、市道の付け替え等の整備を推進していく。また、令和3年度から本格的に運用される「道路施設管理計画」に基づき施設の適切な維持管理をおこなっていく。
評価	①社会基盤を支える道路の早期整備に向け、国・県との連携や市道整備を着実に進めることに加え、計画に基づいた適切な維持管理を評価する。今後は、限られた予算のなかで道路修繕の着実な実施と新規道路の適切な判断による整備が進められることに期待する。
①－〇	

【共に支えあうまちづくり】

要望内容	人生100年時代への取組
具体的内容	①（仮称）人生100年時代構想の計画策定
主な回答内容	①国の「人生100年時代構想会議」により取りまとめられた「人づくり革命基本構想」において示された課題については、第8次豊田市総合計画後期実践計画にて推進し、人生100年時代構想を見据えた社会づくりを目指していく。
評価	①人生100年時代構想の趣旨を第8次豊田市総合計画後期実践計画で推進していくことを評価する。今後は、基本である人づくりや社会基盤づくりの取組が推進されることを期待する。
①－〇	

要望内容	感染症に備える取組の推進
具体的内容	①（仮称）豊田市感染症予防計画の作成と周知
主な回答内容	①「豊田市新型インフルエンザ等対策行動計画」については、新型コロナウイルス感染症発生時の医療体制の確保や患者の対応、予防接種に向けた取組等を検証し、現状に合わせた見直しをおこなっていく。また、年1回BCPの見直しもおこなっている。今後も地域防災計画やBCPとの連動が必要な場合には考慮し周知していく。
評価	①新型コロナウイルス感染予防の状況が変化するなか、既存の行動計画を現状に合わせた見直しをおこなっていく取組を評価する。今後はコロナ感染症対応の経験を生かし、ワクチン接種などの適切な運用と状況に応じた感染予防対策の取組が有効に進められることに期待する。
①－〇	

要望内容	介護業務の環境整備
具体的内容	①介護業務の負担軽減
主な回答内容	①申請書類については、介護サービス事業所の届出のみに簡素化、介護保険法および老人福祉法で定める添付書類を50%削減するなど簡素化を図ってきた。AIの活用については、引き続き、システムの開発状況を注視し、その実用性に関する検証をおこなっていく。また、先進技術の導入については、市内事業所の状況把握に努めるとともに、市から積極的に情報提供を行い、国や県の補助制度を活用し、推進していく。
評価	①申請書類などの簡素化や削減の取組の継続に合わせて、AIや先進技術の実用性に関する検証や事業者への積極的な情報提供をおこなう取組を評価する。今後は国県の動向や補助制度などに注視し、更なる介護業務全体の負荷軽減につながる支援に期待する。
①－〇	

要望内容	誰もがイキイキと働ける社会
具体的内容	①障がい者の社会参加支援
主な回答内容	①障がい者就労・生活支援センターにおいて、企業訪問により各種支援制度の紹介等をおこない職場開拓に取り組む。また、就労移行支援事業所と連携し、企業の就労担当者への研修会等により一般就労を推進する。更に障がい特性に応じた働き方のアドバイス等をおこない、職場定着についても推進する。また、障がい福祉サービスにおいて、利用の増加に対応し、障がい者の一般就労を推進していく。
評価	①民間企業への出前講座や研修会の実施により、着実な職場開拓と理解促進につながっていくことを評価する。今後は更なる出前講座の拡充や特性に応じた働き方アドバイスの成功事例の横展により、障がい者の就労移行や職場への定着率が向上することを期待する。
① - ○	

【魅力を共感するまちづくり】

要望内容	中心市街地商業の活性化
具体的内容	①中心市街地の新たな魅力創出
主な回答内容	①豊田まちづくり（株）が中心として後継テナント誘致・ビル再生に向けた取組を検討するなかで百貨店撤退の検証をおこなう。また、策定した未来ビジョンを基に周辺施設との連携を深め、相乗効果を生みだせるようテナント誘致や来客増に資する公共的空間整備の支援をおこなっていく。
評価	①公民が連携し策定する未来ビジョンの実現に向け、テナントの誘致・来客につながる公共的空間整備への支援を評価する。今後は、これまでの苦い経験を糧に人を魅了する中心市街地の実現に向け、まちの再生に長けた人材投入なども検討し結果に結び付けることを期待する。
① - ○	

要望内容	観光のスマート化による誘客
具体的内容	①観光型M a a Sへの取組
主な回答内容	①観光型M a a Sについては、スマホによるバスの1日乗車券販売のほか鉄道機関と連携し観光プランの開発・販売を進めてきた。引き続き、公共交通事業者等と連携してM a a Sを活用した観光プランの開発に取り組み、本市の観光の魅力化に取り組んでいく。
評価	①観光型M a a Sを導入した観光の開発に向け、関連機関と連携し継続的に開発を進めることを評価する。今後は、本格的な運用に向けたしくみを構築し、豊田市らしい観光の一翼を担う魅力となることを期待する。
① - 〇	

要望内容	とよたSDGs未来都市の実現に向けた取組
具体的内容	①とよたSDGsの市民への情報発信 ②とよたエコフルタウンの機能強化
主な回答内容	①とよたSDGsパートナーによる取組による、ロゴマークをチラシや装飾等で多用し、市内外で「見える化」することで、SDGsに対する市民の関心を高めていく。また、Web媒体を活用した情報発信を実施するとともに、オンライン会議やセミナー等は継続的に実施してコロナ禍へ対応していく。 ②「豊田市つながる社会実証推進協議会」の取組の見える化や実証拠点として積極的な活用を図り、とよたエコフルタウン以外の実証エリアの確保や自動運転などの実証実験に求められる機能等を充実させていく。
評価	①SDGsの視覚的な見える化とWeb媒体を活用した情報発信の促進を評価する。今後は、2021国際会議で得た知見を基に、更なる周知徹底をおこない市域全体で取組が促進されていくことを期待する。
① - 〇	②豊田市つながる社会実証推進協議会の活動を支援し、実証エリア拡大の取組を評価する。今後はパートナー企業の活動支援に加え、パビリオン以外の活用も視野に入れたSDGs拠点エリアの拡大に取り組んでいくことを期待する。
② - 〇	

要望内容	ゼロカーボンシティへの取組
具体的内容	①ゼロカーボン達成に向けた行動計画の実践
主な回答内容	①令和3年度の環境基本計画の中間見直し作業に合わせて、計画にゼロカーボン施策を位置付けるとともに、脱炭素社会実現に向けた市民の行動促進を図るためのセミナー実施等を通して、目標達成を目指していく。
評価	①脱炭素社会の実現を目指し環境基本計画の中間見直し作業に合わせて、計画にゼロカーボン施策を位置付けて進められることを評価する。今後はゼロカーボン達成に向け、市民や事業所への行動変容を促すためにも、全市が一体となれる新たな事業展開を期待する。
①－〇	

要望内容	ソサエティ5.0の取組
具体的内容	①先進技術を活用した事務事業の効率化 ②5G環境の積極的な整備
主な回答内容	①「豊田市デジタル強靱化戦略」に基づき、AIを活用した相談支援やスマート窓口の構築を始め各種事業に取り組むとともに、RPAなど内容の充実及び全庁の業務への展開を図りながら業務効率化を進める。更にはオンライン申請の拡充を推進し、デジタル・スマート市役所を推進する。 ②5Gを生かした新たなサービスへの取組のための調査研究を進め、各通信事業者の整備状況等も鑑み適宜検討していく。また、ローカル5Gについても本市における活用手法等について継続的に検討していく。
評価	①デジタル強靱化戦略に基づく先端技術の取組を評価する。今後は「書かない」「待たない」に加え、来庁しなくても手続きができるデジタル・スマート市役所の推進に期待する。
①－〇 ②－〇	②5Gの取組に対する調査研究を進めていくことを評価する。今後は、通信事業者と十分な連携を取ることで、5Gの環境充実による市民サービスの向上に期待する。

政策要望は、全トヨタ労働組合連合会Webサイトで
閲覧できます。(2021年9月1日～)
QRコードまたは、「全トヨタ労連ホームページ」の
「政策推進議員連絡会」より、「豊田市」を選択して下さい。



「SDGs未来都市とよた」として、豊田市の強みであるエネルギー、モビリティ、ウエルネスを中心に、つながることで市民生活の質的向上と持続可能なまちづくりを進めていきます。



